

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 7 月 9 日 (2015.7.9)

【公表番号】特表 2014-523026 (P2014-523026A)

【公表日】平成 26 年 9 月 8 日 (2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報 2014-048

【出願番号】特願 2014-518572 (P2014-518572)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/44 (2006.01)

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/06 6 2 0 K

G 0 6 F 9/06 6 1 0 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 5 月 15 日 (2015.5.15)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 15

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 15】

前記アプリケーションが仮想機械イメージで記憶され、前記規則が前記仮想機械イメージをマウントすることによって適用される、請求項 9 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

[0019] 図 2 は、汎用コンピューティングクラウド 100 の別のビューを示す。このビューでは、テナント 120、122 は、それぞれのクラウドホスト型アプリケーション 124、126 を有する。コンピューティングクラウド 100 は、アプリケーション 124、126 のコンピューター環境 128、130 を管理するファブリック 125 を有する。ファブリック 125 は、ゲストオペレーティングシステム、記憶サービスなどで VM を実行する多数のコンピューターを有し得る。アプリケーション 124、126 は、ウェブページのアクセスに典型的な様々な構成要素を備えることができ、コンピューティングクラウド 100 によって提供されるリソースを使用することができる。コンピューター環境 128、130 は、Amazon EC2 インスタンス（アマゾンマシンイメージ（AMI）によって構成されるような）、ロール（Microsoft Azure におけるような）、管理されたコード環境を有するサンドボックスされたシミュレートされた部分的オペレーティングシステム（Google App Engine におけるような）などに類似していてもよい。コンピューター環境 128、130 は、ロード、ネットワークトラフィック、予期せぬ故障などの現在の状態に従って、ファブリック 125 によって「拡張」され得る。そのような拡張は、必要に応じて計算リソース（ハードウェア、VM、サービスインスタンス、データベースインスタンスなど）を透過的に追加または取り除くステップを含み得る。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 1 0

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 0 】

[0021] 図 3 は、2 つの例示的コンピューティングクラウドアーキテクチャを示す。クラウドアーキテクチャ 2 5 0 は、Amazon EC2 クラウドの 1 つのバージョンである。アプリケーション開発および配備は、テナントクライアントによって処理される。本クラウドは、機械イメージおよびオンデマンドインスタンスの形でクラウドコンピューティングサービスを提供する。アプリケーションは、仮想機械内のゲストオペレーティングシステムでホストされる。仮想機械およびデータベースのインスタンスは、サポートサービスからの必要に応じてクラウドによって提供される。待ち行列サービスは、仮想機械とアプリケーションインスタンスの間の通信を円滑に進めることができる。これらの構成要素がどのように作動し、協力するかの詳細は、他の場所で入手可能である。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 2 5

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 5 】

[0037] 図 8 は、移行ツール 3 2 0 によって実行されるプロセスを示す。ステップ 3 8 0 で、移行ツール 3 2 0 のユーザーは、コンピューティングクラウドに移行されることになるターゲットソフトウェアまたはアプリケーションを指定する（そのツールおよび規則は、任意のアプリケーションに適用可能であるように設計される）。ステップ 3 8 2 で、移行ツール 3 2 0 が、ターゲットアプリケーションにアクセスする。これは、パッケージ形式を開くステップ、ソースコードファイルおよび構成ファイルを読み取るステップ、VM イメージをマウントするステップ、または、そのアプリケーションを調査するための他の手段を伴い得る。移行ツール 3 2 0 は、要素間の関係、依存状態、関連するファイル（たとえば、マニフェストおよびビルドスクリプト）などを識別することができる。ステップ 3 8 4 で、関連する規則セットが、規則ライブラリーからロードされる。ステップ 3 8 6 で、そのアプリケーションの様々な構成要素がパーズ（parse、構文解析）され、関連する規則が適用される。ステップ 3 8 8 で、出力が生成される。その出力は、パッチ、コード修正、推奨、または、その他を含む、前述の様々な形を取り得る。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 2 6

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 6 】

[0038] 図 9 は、移行ツール 3 2 0 によって使用される読取りツール 4 0 0 の例示的セットを示す。アプリケーションの内容にアクセスするために、移行ツール 3 2 0 は、VM イメージマウンター 4 0 2、コードパーサー（コード構文解析ツール）4 0 4、インストールパッケージインスペクター 4 0 6、アセンブリリーダー 4 0 8、スキーマリーダー 4 1 0、スクリプトリーダー 4 1 2 もしくはパーサー、コンパイラー、ソフトウェア開発環境、および / または、移行されるアプリケーションのタイプに関連する任意の他の知られている技法を使用することができる。VM イメージマウンター 4 0 2 は、VM イメージ形式を読み取り、ファイルシステムにそのイメージをマウントするように構成され得る。

結論

[0039] 前述の実施形態および特徴は、揮発性または非揮発性コンピューターまたはデバイス可読媒体に記憶された情報の形で実現することができる。これは、光記憶装置（たとえば、コンパクトディスク読取り専用メモリー（CD-ROM））、磁気媒体、フラッシ

ュ読取り専用メモリー（ＲＯＭ）、または、デジタル情報を記憶する任意の現在のもしくは未来の手段などの媒体を少なくとも含むと考えられる。その記憶された情報は、機械実行可能命令（たとえば、コンパイル済み実行可能２進コード）、ソースコード、バイトコード、または、コンピューティングデバイスが前述の様々な実施形態を実行することを可能にするまたはそのようにコンピューティングデバイスを構成するために使用することができる任意の他の情報の形でよい。これはまた、一実施形態を実行するプログラムの実行中に中央処理装置（ＣＰＵ）命令などの情報を記憶するランダムアクセスメモリー（ＲＡＭ）および／または仮想メモリーなどの揮発性メモリーを少なくとも含み、同様に、プログラムまたは実行ファイルをロードおよび実行できるようにする情報を記憶する非揮発性媒体を含むと考えられる。それらの実施形態および特徴は、携帯用デバイス、ワークステーション、サーバー、モバイルワイヤレスデバイスなどを含む任意のタイプのコンピューティングデバイスで実行することができる。

【誤訳訂正６】

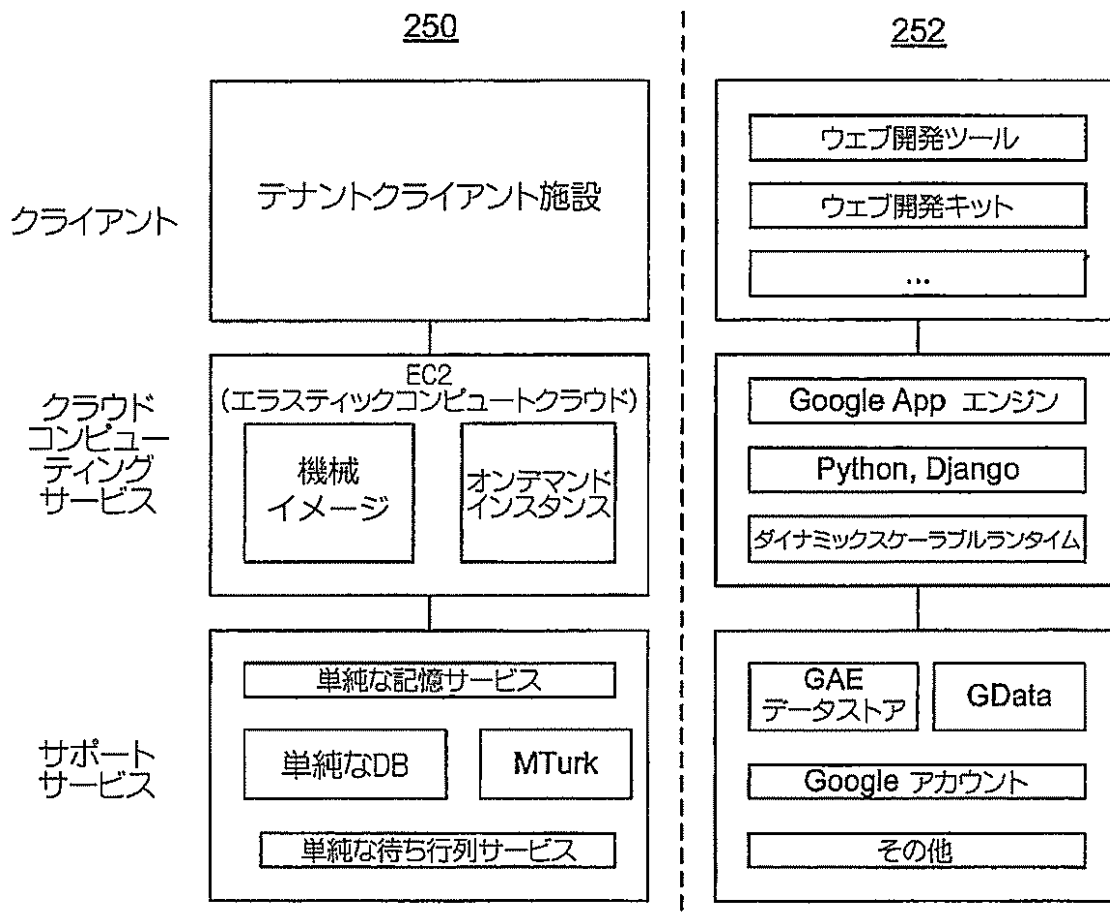
【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図３

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図３】



【誤訳訂正７】

【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図９

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図9】

